

海後宮は おんいごみや 教育學者。明治二十四年九月十日茨城縣水戸生れ、

昭和八年（二十一年十一月）二十一日没（一九〇一—一八七）。大正十五年東京帝國大

學文藝部教育學科卒。文部省國民精神文化研究所編輯主任を経、昭

和十一年東京帝大教授、二十七年新設の教育學部長。二十二年日本教

育學會會長、二十五年日本藝術會議第一部長となる。教育勅語を如の

明治教育史研究の業績を擧げた。また社會科問題協議會會長を務める

など社會科教育に盡力。同學海後勝雄の兄。

著書に「教育勅語頒發以前に於ける小學校修身教授の變遷」（吉田熊

次共著、昭和九年七月十八日日本文化協會出版部）、「西村茂樹 杉

浦重剛」（昭和十二年一月二十日北海道出版社「日本教育家文庫」）、

「教育勅語頒發關係資料集」（解説、第一卷・昭和十二年二月）千五

日國民精神文化研究所「國民精

神文化文獻」）、「日本教育小

史」（昭和十五年六月）千五百



日本放送出版協會「ラヂオ新書」）、「教育に關する勅語頒發五十年

記念資料展覽圖録」（解説、昭和十六年八月二十日教學局編、内閣印

刷局）、「元田永幸」（昭和十七年八月二十日文教書院「日本教育先

行叢書」）、「學生生活調査」（吉田昇共著、昭和十八年二月十日白

木評論社）、「日本文化提要・第一部」（他八名合著、昭和十九年二

月五日國際文化振興會）、「教育の再建とその指標」（田中耕太郎合

著、昭和二十一年一月二十一日國民教育社）、「社

會調查の理論と實際」（合著・民族文化調査會編、

昭和二十二年七月五日青山書院）、「日本教育の進



- 展』(昭和)二十六年十月十五日東京大学出版部)、『歴史教育の歴史』
展』(昭和)四十四年一月十日東京大学出版会「UP選書」)、 『教育史』
十年』(昭和)四十六年十一月十日評論社「評論社叢書」)、 『日本教
育史』(昭和)五十二年八月十日講談社「講談社学術文庫」)等。